

ブルーギルを使った泳がせ釣りによるオオクチバスの捕獲(2010～2011)

橋富 彰吾

1. はじめに

2010年～2011年にかけて滋賀県守山市木浜町の木浜内湖と琵琶湖を接続する水路においてブルーギルを餌にした泳がせ釣り(ブツ込み釣り)で捕獲したオオクチバスについて、捕獲時刻の分布を中心にその傾向などを報告する。

2. 方法

泳がせ釣り、あるいはブツ込み釣り、いずれにせよ生きたブルーギルを餌にした釣りによりオオクチバスを捕獲した。仕掛けは、安売りのセット物の投げ竿を用い、道糸:ナイロン 8号、ハリス:ナイロン 8号または 5号、おもり:六角おもり 15号、針:伊勢尼 8～11号を用いた。餌は現地調達のブルーギルで全長 10cm ぐらいのものを用いた。ブルーギルを餌に用いた理由は、スジエビやウグイ、オイカワなどの活き小魚よりも入手や管理が容易であったからである。なお、捕獲したオオクチバスおよび余ったブルーギルは、最寄りの外来魚回収 BOX に投入した。

3. 結果

2.の方法により、2010年に 22匹、2011年に 24匹、合計 46匹のオオクチバスを捕獲した。捕獲されたオオクチバスのサイズ(全長)の分布をまとめたものが、図-1のグラフである。45～55cm 未満を中心に捕獲された。より小型サイズのものがないわけでは無く、今回の捕獲方法では餌のブルーギルを口に入れることができなかつたためと考えられる。

次に、捕獲された時間帯をグラフにまとめた。図-2のグラフを見ると、基本的に 4:00～18:00 までの間に捕獲されていることが分かる。午前と午後では、午前中の特に 5時台捕獲されており、8時台まで例外的に 20:00 台で 1匹捕獲されているが、これは餌のブルーギルを交換するために仕掛けを回収した際に、引き寄せられたブルーギルによって水面でパシャパシャと音が鳴り、その音によって反応したと考えられる。

2010年は回数調整をしていなかった。一方、2011年については午前と午後の釣行日数はそれぞれ 11回と等しい。そのため、2011年のデータのみを別途、時間別にまとめたものが図-3のグラフである。午前 13匹午後 11匹と大差なかった。

夜間の時間帯にはほぼ釣れてない点に着目し、日の出及び日没の時刻を基準に捕獲された時間帯の分布を調べた。日の出時刻を基準とした捕獲数の分布をまとめたものが図-4のグラフである。日の出 30分前から日の出後 1時間の間に合計 20匹が捕獲され、特に日の出後 30分から 1時間の間に最も多く捕獲されていた。一方、日没の前後では、日没 5時間前から日没 2時間 30分後までの間に 14匹が捕獲されているが、そのうち、8匹は日没 3時間前から 1時間 30分前までの間に捕獲されていた。

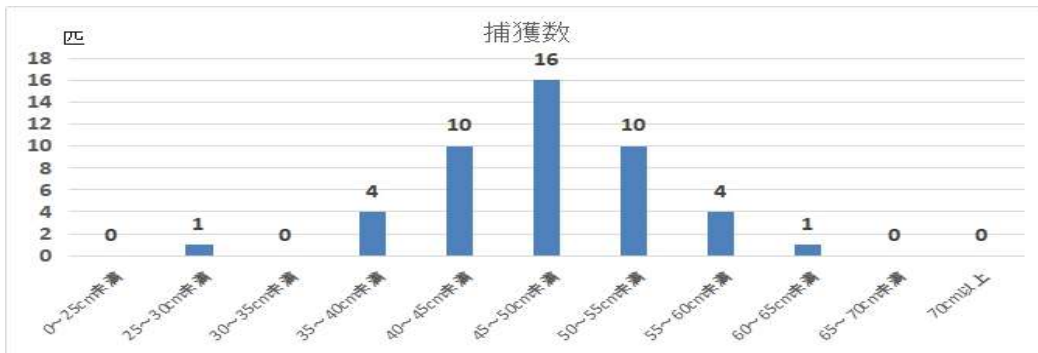


図-1 捕獲個体のサイズ分布

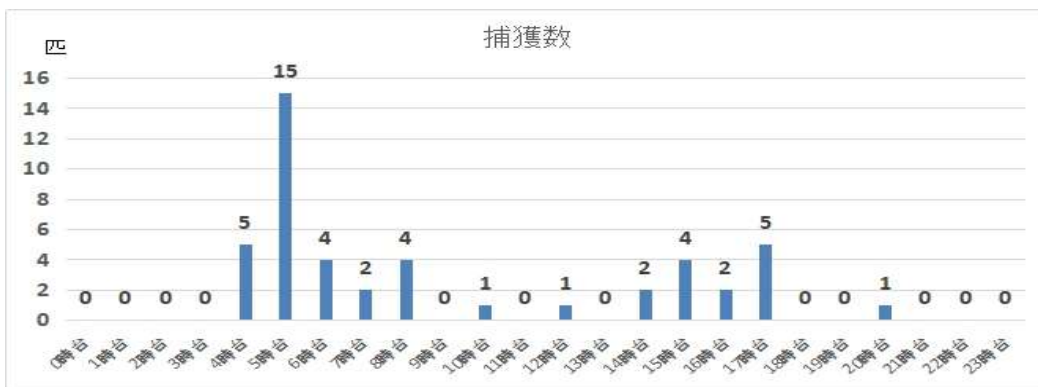


図-2 時間帯別捕獲数

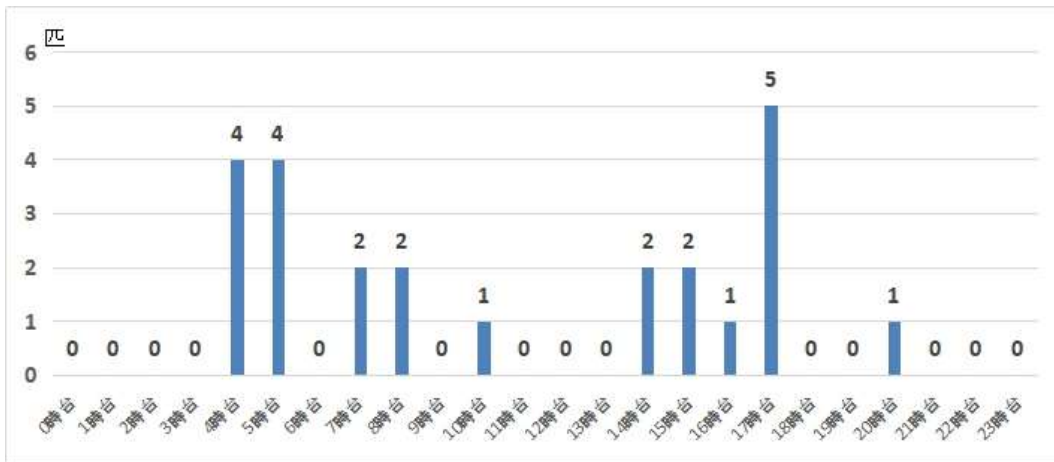


図-3 時間帯別捕獲数 (2011年のみ)

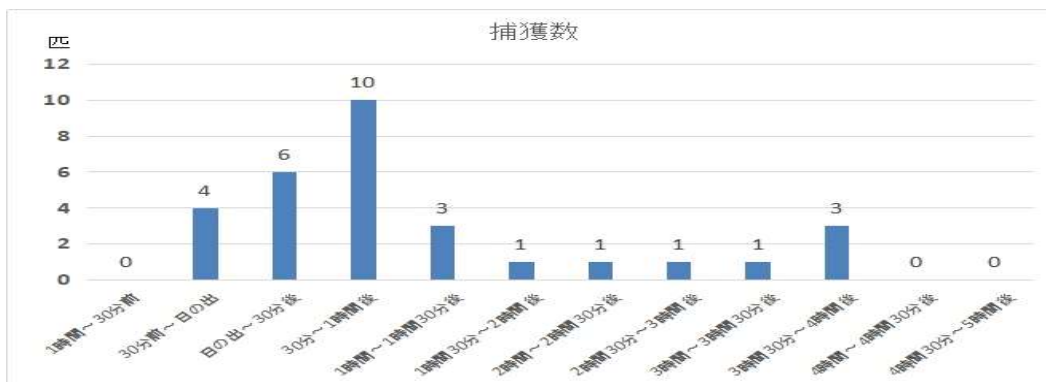


図-4 日の出を基準とした捕獲数の分布